

ねらい

- 顧客志向のものづくりを行うための代表的な手法であるQFD(Quality Function Deployment = 品質機能展開)及びVE(Value Engineering = 価値工学)の基礎を修得し、製品開発や改良設計の現場に適用できる実践的な能力を身につけることを目的とします。
 - 品質、顧客要求、顧客満足、価値、機能、などの基本的な概念に対する理解を深めます。
 - 製品の階層構造を踏まえた上で、製品の品質特性及び品質指標に関する理解を深めます。
 - 「製品の機能」を「製品に対する顧客要求」に明確に関係付けることによって、真に顧客満足を実現する機能向上やコストダウンの視点を習得します。

研修形式

- 講義 + グループ演習
 - 品質や顧客要求などの基礎概念を学習した後、QFDに関する解説・演習、VEに関する解説・演習へと進みます。
 - 4～6人/組でグループ演習を行います。演習は、グループごとに、汎用的な製品(懐中電灯)に対して品質表を作成した上でVE手法を適用し、最終的に代替案まで作成します。

研修後の期待される効果

- 製品の品質及び製品に対する顧客要求の多様な側面を理解することにより、さまざまな視点から品質向上に取り組むように動機付けられます。
- 顧客要求に基づいて製品開発や改良設計の方向性を定める発想が身に付きます。
- QFDとVEを関連付けて理解することで、機能(向上)とコスト(ダウン)のバランスの取れた製品開発や改良設計が行えるようになります。

QFD(品質機能展開)・VE(価値工学)研修プログラム

時間	第1日目		第2日	
	講義	演習	講義	演習
9:00	1. 製品企画・設計の基本ステップ <ul style="list-style-type: none"> ものづくりのサイクル - 創って、作って、売る 使用品質、設計品質、製造品質 製品の階層構造 製品の企画・設計のステップ 			■ グループ演習 <ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯に対する品質表を作成する
	2. 製品の機能 <ul style="list-style-type: none"> 機能の分類(1)～(3) 機能系統図 	■ グループ演習 <ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯に対する機能系統図を作成する 	4. VEの基本原則 <ul style="list-style-type: none"> VE(価値工学)とは? VEの実施手順(ジョブプラン)(機能定義、機能評価、代替案作成) VEの基本原則 	
	<ul style="list-style-type: none"> 要素-機能マトリクス 	■ グループ演習 <ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯に対する「要素-機能マトリクス」を作成する 	5. VEの実践 <ul style="list-style-type: none"> 「機能評価」の実行手順 品質表を用いた「機能評価」 価値指数と充足指数 改善対象機能の選定方法 	■ グループ演習 <ul style="list-style-type: none"> 懐中電灯における改善対象機能を特定する
	3. QFDの基礎 <ul style="list-style-type: none"> 顧客の声(VOC)の把握 製品に対する顧客要求事項の種類 QFD(品質機能展開)とは? QFDによる品質特性の重要度評価 品質表 		<ul style="list-style-type: none"> アイデア発想の手順 代替案のパターン 改良効果の評価(総合価値指数) 新機能の付加 	■ グループ演習 <ul style="list-style-type: none"> 演習 で特定された改善対象に対して、代替案を作成する
17:30				